水石　玲子

### ◆避難所ついて

**問 女性の視点等を踏まえた避難所運営について本市の取り組み状況は。**

答 平成30年から生理用品、ワンタッチテントの備蓄を進めてきた。

　災害協定を結んでいる業者に依頼し供給できるように調整している。

**問 女性の視点を踏まえた避難所運営推進事業費補助金の活用の考えは。**

答 岐阜県の補助事業で、令和5年度から令和7年度の期間に、各市町村で一回補助を受ける事ができる。

　来年度以降、補助の申請をすると共に、女性等の視点を踏まえた避難所運営の充実にこれからも取り組んでいく。

**問 本市の今後の展開は。**

答 女性及び配慮が必要な方の参加による検討会の中で、女性等のニーズに配慮した避難所運営の在り方を検討し、避難所運営マニュアルに反映していく。又、女性防災士の育成を推進し、避難所運営に多くの女性が参画できるよう呼び掛けていく。

### ◆子宮頸がん撲滅への取り組み

**問 キャッチアップ推進について、令和4年度及び直近までの接種率は。**

答 令和4年度、9・9%。今年度7月末現在、5・6%。

**問 今後の対応は。**

答 引き続き未接種者への個別通知による再勧奨の継続、広報・ホームページへの掲載、SNSでの情報発信に取り組んでいく。

**問 男性のHPVワクチン接種について、HPVが関係する疾病は。**

答 中咽頭がん、肛門がん、陰茎がん等の発症に関係がある。

**問 男性への推進でどのような期待があるか。又、接種費用は。**

答 中咽頭がん、肛門がん、性感染症の尖圭コンジローマの予防効果。費用は、3回接種で五万円前後。

**問 男性の接種費用の助成について。**

答 国での議論が開始されている。国、県の動向を注視していきたい。

防災テント

## 《第４回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

水野　哲男

### 土岐市の特色ある教育

### ◆小規模特認校について

**問 濃南小学校に特認校制度を取り入れた目的、対象は。**

答 自然環境に恵まれた小規模校で、少人数の学習指導による確かな学力の定着と心身の健康増進を目指すとともに、明るく伸び伸びとした児童を育成する特色のある教育活動を行うことを目的としている。

　対象は、小学校に入学する一年生で、土岐市内に在住していること。

**問 これまでの児童の受入れは。**

答 一年生2人、二年生2人、三年生2人、四年生2人、五年生1人の9人である。来年度の就学予定者から、既に3件の見学希望の問い合わせが来ている。

**問 この制度を利用している児童、保護者の様子は。**

答 児童は学校に順応し、楽しく通学しており、地域にも馴染んでいる。また保護者からは、濃南の子どもたちが温かく迎え入れてくれ、先生方からもよく声をかけていただき安心できるとの声が聞こえている。

### ◆小・中一貫教育校について

**問 小・中一貫教育とは。**

答 小・中学校の教員が目指す子ども像を共有して、9年間を通じた教育課程を編成して系統的な教育を目指すもの。

**問 濃南小中学校の特色は。**

答 小学校と中学校の職員室を一つにして、小学校一年生から中学校三年生までの担任同士の交流が容易になっている。また大きな特色としては、発達段階に合わせて小学校一年生から教科担任制を取っている。

**問 一貫教育の成果について。**

答 教育の質の向上、人との関りを大切にした活動、地域とともにある学校づくりを基本コンセプトとして推進しており、豊かな人間性や社会性のある濃南の子を育むことに繋がっている。また学力も着実に身についてきており、今年度の全国学力・学習状況調査では、県、全国平均を大幅に上回る結果となっている。

　これも教科専門教師の指導、自主性を促す工夫ある授業などが、小中一貫教育の成果であると捉えている。少人数という特徴、これを利点として生かして、それを特色化している濃南小・中学校の学校運営に対し、教育委員会としてもこれからも精いっぱいサポートしていきたい。

大久保一夫

## ◆市内の下水道について

**問 大型商業施設（イオン・モール）開業後の汚水量、その影響は。**

答 大型商業施設及び温浴施設の開業後、最も利用が多いと思われるオープン月の下水道使用量については合わせて1万2千500㎥の使用が認められました。浄化センターへの影響は、流入する市全体の下水量の約2・7％の相当量で、下水処理に支障をきたすほどの影響はなかった。

**問 浄化センターの現在の稼働率は。**

答 現有処理能力は、日当たり1万9千900㎥であり、令和元年度以降の稼働率は、令和元年度77・1％、令和2年度80・1％、令和3年度82・1％、令和4年度81・2％ということで、概ね80％前後で推移している状態であります。

**問 現在80％以上の稼働率ですが、将来人口減少を想定した事業計画は。**

答 現在は平成28年度から令和17年度の人口減少を想定した、下水道全体計画を策定しており、これに基づき下水道整備を進めています。下水道全体計画とは、概ね20年先の状況を想定し、これに応じた下水道施設の規模や計画を決めるもので、社会的・経済的状況や人口動態などの、変化に応じて下水道整備区域の変更や浄化センターの処理能力などについて適宜見直しを実施するものです。

現計画は策定から8年目となることから、社会環境の変化と合わせて、令和4年度から実施されております国・県の上位計画の見直しをふまえ、今年度以降、必要に応じて本市の下水道全体計画の見直しを行う予定。

**問 水洗化への取り組みについて。**

答 し尿のみを処理する単独処理浄化槽や、汲み取りトイレの御家庭に河川の水質汚濁を防止して良好な生活環境を維持するために、下水道に接続していただくよう、継続的に水洗普及員による未水洗化住宅への戸別訪問を実施しております。

**問 浄化センターの防災対策について。**

答 震度6弱クラスの地震に対して、総合地震対策計画に基づき、地震でも最低限の下水処理機能を確保し、老朽化した施設の改築も併せて、計画的かつ効率的に耐震化を進めていく予定。水害対策は耐水化計画に基づき、洪水に対して下水処理に必要な設備機器が浸水しないように防水板の設置や開口部の閉塞など耐水化を進めているところであります。

## 《第４回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

小栗　恒雄

## ◆生成AIへの市の取り組みについて

**問 生成AIの活用は行政の効率化を促進し、文書制作や情報処理の時間等の大幅削減が期待されています。人手不足に悩むある市は自治体の救世主と捉え生成AIを全面的に導入し、既に実証実験に取り組むなど、全国的に広まっております。市長の生成AIへのご見解をお伺いいたします。**

答（市長） 生成AIの活用は、私も若干使わせていただき非常にすごいなと思いました。一番最初に生成AIに聞いたのは、市長に必要な資質は何かと聞いたところ、リーダーシップ能力、政策立案能力、コミュニケーション能力、地域理解力、公平な判断力、予算管理能力という6項目の資質がでてまいりました。生成AIにはいろんな可能性があると思います。国内においても本格導入に向けた利活用方針を打ち出す動きも見られます。土岐市においては、それを性急にやるのではなくて、そういった状況を見極める中で業務の効率化、あるいは業務の質の向上、質の確保ができることを確認した上で、しかもセキュリティー対策を徹底した上で効率的な業務運営に資するものと捉えていきたいなと思っています。

**問 私たちは今や情報の洪水にさらされる日々を送っています。一方その情報の正確さや真実を見極めることはますます困難になっています。**

**専制国家が、人々を支配やコントロールしようとするプロパガンダをはじめ悪意を持った者が、意図的に流される陰謀論や詐欺事件といった害悪が横行し、身近な生成AIのフェイク情報のウィズフェイクにより誹謗中傷や風評被害が、私たちの日々を脅かしています。住民が被害に遭わないためにも市民への周知が大変大事になってきます。この点について市のお考えをご答弁ください。**

答 身近なところにフェイク情報が存在するウィズフェイクと言われる時代、生成AIの登場でオレオレ詐欺やフェイクニュースなどの犯罪の真偽の見極めが非常に困難となることが考えられます。生成AIを利用した対策の研究も進められておりますが、やはり自己防衛も必要だという意識を付けていくことが重要だと考えております。サイバー犯罪等に関する情報共有を多治見警察署ともしており、関係機関と連携をして市民に注意喚起を行ってまいりたい。

木股　英明

### ◆スポーツ施設について

**問 スポーツ施設の管理、運営はどのようになっているか。**

答 管理、運営は、総合公園、活動センター、駄知体育館、スポーツセンターは市職員及びシルバー人材センターへの委託により管理していて、業務の一つとして窓口での鍵の受渡しなどを行っている。敷島公園や大徳原球場は近隣コンビニエンスストアに鍵の管理をお願いしている。弓道場、総合射撃場などのスポーツ施設は、それぞれ種目協会に鍵の管理も含めた施設の運営管理をお願いしている。

**問 スポーツ施設のメンテナンスなど、どのようになさっているのか。**

答 いずれの施設も安全な利用のために通常の点検に加え、危険度、緊急度の高い案件から優先的に修繕などのメンテナンスを実施しています。

**問 学校施設解放事業の使用施設及び使用団体はどのぐらいですか。**

答 濃南小学校以外の市内小・中学校及び土岐津体育館14施設で、使用団体は107団体です。

**問 学校施設解放事業の鍵の貸し借りは、どのようになさっているのか。**

答 鍵の貸し借りは16時30分までに学校で受け取り、翌日8時30分までに返却、駄知小学校はキーボックスを利用している。

**問 利用者の利便性を考慮して、テンキーボックスを学校玄関外に設置することはできないでしょうか。**

答 利用者の利便性の向上のためにも効率的で管理上も安全な方法などを検討したいと考えております。

### ◆陶史の森について

**問 陶史の森の運営はどのように行っておりますか。**

答 管理員1名、自然観察指導員1名、作業員4名の合計6名の職員で管理・運営しております。

**問 陶史の森の年間事業費は。**

答 2千4百万9千円です。内訳は人件費、消耗品費、電気代、修繕費等

**問 陶史の森の施設管理はどうなっていますか。**

答 施設内の職員が毎日行う園内巡視や年に1度専門業者による定期点検があります。その過程で発見した修繕箇所は、作業員により随時修繕を行っております。議員にいただいたご意見は、調査、検討して改善できるものは早急に対応できるようにしていきたいと考えております。

《第４回定例会一般質問》　●印は議員の意見･提案

# 行政視察報告（議会運営委員会）

## テーマ　議会活性化の取り組みについて

### 視察先　福井県越前市（8月16日）

議会改革はタブレット整備事業が必要だと思います。情報社会において効率的で迅速な議会運営・議案審議・情報の共有･議会の活性化など、市民に開かれた議会の実現と、さらなる議会改革を推進するために、平成29年８月にタブレットを導入した。その結果の一つとして例をあげれば、年間567万円の経費削減の効果があった。又、導入時作成した越前市議会のタブレット端末運用規定は参考になる。

## テーマ　議会改革の取り組みについて

### 視察先　石川県加賀市（8月17日）

大学が有する法務の知的資源を積極的に提供し、自治体のシンクタンク的な立場で地域社会に貢献ができる。また、自治体との交流を深め将来的に学生のエクスターンシップ先や修了生の就職先の一つとして選択肢の幅を広げられる。

議会基本条例に掲げる「政策提案する議会」「監視する議会」「審議する議会」としての機能強化を進めていく必要があり、法務の知的資源を有する金沢大学法科研究科と連携・協力することで、地方創生に向けての政策法務能力の向上を図るとともに、各種の政策提案等をする上で専門的知見を活用することで協定に至る。さらに、子ども・高校生・女性市民等と議会を開催し意見交換を図る。